

環境報告書（第六回）

 平成21年6月10日
 環境管理責任者

第84期(H20年度・20.5/21～21.5/20)

当社足立生産センターにおける環境活動について、日頃からご支援を頂き誠にありがとうございます。
 当社足立生産センターにおける環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	機械オーバーホールを継続実施するなど投資をしたが、僅かながら84期目標は達成できなかった。しかし、結果として前年目標を2年掛りで達成した事になった。 今後も小ロット対策を含め作業全般の見直しを実施し、活動していく。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	冷暖房温度管理・機械停止時運用方法の改善を含め削減活動を実施した。 電気については2期連続で僅かながら目標未達成となった。今後は周辺設備の省エネ化実施に向け更に検討を要す。 ガスについては6号機脱臭温度下げ改良工事の効果と、機械停止時の乾燥炉完全ガス停止を心がけた結果、目標をぎりぎり達成する事ができた。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	84期目標を達成した。 インキ在庫の適格な把握と発注意識の改善により、残肉が減少し廃棄量も抑えることができた。 結果廃棄物処理代の軽減に繋がった。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	84期目標達成した。 前年未達成だったが、本年更に厳しい目標数値にもかかわらず、なんとか、達成できた。大きな事故を未然に防いだのが要因か。

■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを中心に、随時外部教育機関へ派遣し印刷技術・知識の向上を図っているが、同時に、環境活動(力量)のアップ改善へもつなげている。
- 3事業年度に亘り資源を投入し、印刷機オーバーホールを実施中(2年目)であるが、機械予防保全の意味からも効率よい運転が期待でき、損紙低減、省エネ運転につながるものと期待している。
- 前期はガス脱臭装置の燃焼温度を下げることの設備改善を実施したが、85期は工場内換気設備を改善し、印刷環境(印刷品質及び作業場)の整備を図り、効率アップと作業環境の改善を目論みたい。
- 多額の資源投入となるが、冷却水チラーポンプ及びコンプレッサーのインバーター化実現に向けて継続的に検討していく。
- エネルギーコストの上昇により工場運営を圧迫する中、従業員の昼休み時間帯を13時～14時に昨年より実施したが、本年も継続実施していく。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。